

金 沢 大 学

講座の概要

〈各科目の概要〉

(テレビ科目) 新時代を迎えた世界と北陸の経済

放 送 日 時 昭和63年10月3日～昭和63年12月26日

毎週月曜日 午前10時00分～午前10時45分 (北陸放送)

中心的なテーマ	科目のねらい	内 容 ・ 方 法
いま経済は世界的規模において、かつてない激しさをもって変動している。この経済激動をわかりやすく分析し、地域の視点から今後を展望する。	現在、世界的な政治・経済の変動に伴い、北陸地方の経済も急激な産業構造の変革を迫られている。そこで、構造変革に直面している北陸地方の住民が、世界経済の変動が及ぼす影響を理解し、今後における適切な対応を考えるため、それに資する情報を提供することをねらいとする。	世界経済の変動を概観するとともに、主に北陸地方で構造変革に対処している実例等を紹介し、今後の発展の方向を展望する。

(ラジオ科目) 乳幼児の発達

放 送 日 時 昭和63年10月15日～平成元年1月21日

毎週土曜日 午後9時00分～午後9時45分 (北陸放送)

中心的なテーマ	科目のねらい	内 容 ・ 方 法
人間の一生は、受胎に始まり死に終わる。発達とは、そのような変化の過程である。その変化の中でも、この乳幼児にかけてはヒトとしての人格の基礎的な部分が形成される大切な時期である。 そのような時期に生じる発達のな変化、その変化を	ヒトは無力な状態で誕生する。ヒトが人になっていくには、文字通りの人手(世話)を必要とする。暖かい人手をくぐるなかで、赤ちゃんは次第に人となっていくのである。ヒトが人へ変化していくこのような過程は、われわれにとって興味深いものである。 特に新生児から幼児にかけての発達は、それ以降の人格的な基礎が作られる時期として注目される。そこ	このような胎児、乳児、幼児の発達過程のすじみちを発達心理学の立場から系統的に論じてみる。 そのなかで、発達とは何か、育つとはどういうことかなどの問題にも触れたい。さらに、発達する子どもの姿を捉えながら、保育者が、そのような子どもとどのようにかかわっていけばよいのか(子育て)についても考えてみる。

もたらす要因、さらに子育てとの関連などについて論じる。	で本科目では、この時期の子どもの発達する姿を捉え、その発達にとって必要な要件などについて探求するのがねらいである。
-----------------------------	---

〈各科目の構成〉

(テレビ科目) 新時代を迎えた世界と北陸の経済

主任講師：経済学部 教授 佐原 甲 吉

放送回	放送月日	中 心 テ ー マ	担 当 講 師
第1回	10月3日(月)	アメリカと日本経済 —国際化とは何か—	経済学部教授 海 野 八 尋
第2回	10月10日(月)	世界の貿易はどうなるか —農業摩擦と日本農業—	経済学部教授 村 田 武
第3回	10月17日(月)	変わる中国経済と日中関係	経済学部助教授 内 山 雅 生
第4回	10月24日(月)	社会主義経済の新たな動き —ペレストロイカとは何か—	経済学部助教授 堀 林 巧
第5回	10月31日(月)	日本経済とハイテク産業	経済学部助教授 佐々木 雅 幸
第6回	11月7日(月)	現代の消費と生活 —「消費ルネサンス」の実像—	経済学部教授 藤 田 暁 男
第7回	11月14日(月)	税制改革と国民負担	経済学部教授 山 村 勝 郎
第8回	11月21日(月)	高齢化社会と社会保障	経済学部助教授 横 山 壽 一
第9回	11月28日(月)	北陸の新しい基幹産業を考える	経済学部助教授 佐々木 雅 幸
第10回	12月5日(月)	北陸農業・農村の展望をひらく	経済学部教授 村 田 武
第11回	12月12日(月)	沿岸漁業振興と地域社会 —海辺の村と町から北陸を考える—	教育学部教授 地 井 昭 夫
第12回	12月19日(月)	林業・山村の展望をひらく —林業再建と村おこしのパイオニアたち—	経済学部教授 佐 原 甲 吉
第13回	12月26日(月)	徹底討論 —北陸の内発型開発をめざして—	経済学部教授 佐 原 甲 吉 ほか

(ラジオ科目) 乳幼児の発達

主任講師：教育学部 助教授 岩 田 純 一

放送回	放送月日	中 心 テ ー マ	担 当 講 師
第 1 回	10月15日(土)	環境は胎児から	教育学部助教授 岩 田 純 一
第 2 回	10月22日(土)	有能な新生児	〃
第 3 回	10月29日(土)	人への最初の出合い —基本的信頼感の形成—	〃
第 4 回	11月 5 日(土)	人への最初の出合い —愛の対象の成立—	〃
第 5 回	11月12日(土)	基地としての母親	〃
第 6 回	11月19日(土)	ことば、歩行と自己の認識	〃
第 7 回	11月26日(土)	自我の芽生えと反抗期	〃
第 8 回	12月 3 日(土)	わたしは三つ	〃
第 9 回	12月10日(土)	われわれの世界へ	〃
第10回	12月17日(土)	自立から自律へ —自分へのやりくり—	〃
第11回	12月24日(土)	子育てを考える —その1—	〃
第12回	1 月14日(土)	子育てを考える —その2—	〃
第13回	1 月21日(土)	子育てを考える —その3—	教育学部助教授 岩 田 純 一 〃 非常勤講師 吉 永 ちひろ 金沢経済大学講師 吉 村 順 子

〈スクーリング〉

(テレビ科目) 新時代を迎えた世界と北陸の経済

回	実 施 場 所	実 施 日 時	備 考
第 1 回	金沢大学教養部教室	昭和63年10月2日(日) 13:30~16:00	開講式(13:00~13:25)に引き 続き行う。
第 2 回	北陸放送スタジオ	昭和63年10月30日(日) 13:30~16:00	
第 3 回	金沢大学教養部教室	昭和64年1月16日(月) 13:00~15:00	引き続き閉校式(15:00~15: 30)を行う。

(ラジオ科目) 乳幼児の発達

回	実 施 場 所	実 施 日 時	備 考
第 1 回	金沢大学教養部教室	昭和63年10月2日(日) 13:30~16:00	開講式(13:00~13:25)に引き 続き行う。
第 2 回	北陸放送スタジオ	昭和63年11月13日(日) 13:30~16:00	
第 3 回	金沢大学教養部教室	昭和64年1月16日(日) 13:00~15:00	引き続き閉校式(15:00~15: 30)を行う。

〈再視聴〉

(テレビ科目) 新時代を迎えた世界と北陸の経済

実 施 場 所	実施期間・日時	備 考
金沢大学 大学教育開放センター	昭和63年10月2日～ 昭和63年1月16日 10:00~17:00	日曜・祝祭日を除く。また昭和63年12月25日か ら昭和64年1月4日まで再視聴サービスを休止 する。

(ラジオ科目) 乳幼児の発達

実 施 場 所	実施期間・日時	備 考
金沢大学 大学教育開放センター	昭和63年10月16日～ 昭和63年1月16日 10:00~17:00	日曜・祝祭日を除く。また昭和63年12月25日か ら昭和64年1月4日まで再視聴サービスを休止 する。

実 施 報 告

(1) 実施責任者報告

金沢大学大学教育開放センター長 望 月 真 澄

1. 放送公開講座の大学における位置づけと放送局その他の関係機関との協力関係について

本学の放送公開講座は、大学教育の地域社会への開放という役割の大学公開講座の一環として位置づけ、それに基づき、学内でその役割を担う大学教育開放センターが、学内各部局の協力を得て、企画・実施に当たっている。

放送局との間では、テーマ設定の直後から、意見交換の機会を持ち、講座の構成・順序、番組制作の過程での打合わせ、受講生募集のPR等、多面にわたって連携を保ち、良好な協力関係を維持している。

その結果、この放送公開講座は、主に石川県下で、一つには、印刷教材やスクーリングを伴うマルチ・メディアの講座であること、いま一つには、大学のキャンパスに直接足を運ぶことの困難な遠隔地の学習者に学習情報を提供すること、の2点でとくに重要な教育機能を果たしている。

本学の場合、他の機関に所属する講師の協力を求めることが多いが、本学の講師と良好な人間関係を保持している方々が中心で、それらの講師やその所属機関とは、極めて良好な関係にある。

2. テーマの選定とそのねらいについて

テーマの選定については、〔1〕で記した学内各部局の協力関係の現われとして、本センターの「運営委員会」（8学部、1短期大学部、1研究所および教養部からそれぞれ1人代表として選出の委員によって構成）の中に、放送講座小委員会を設け、それに本センターのセンター長および専任教官が加わって、全学の意向が十分に反映されるよう特に留意して行われている。

本年度のテーマについては、一昨年度末に本学で開催された第4回放送利用の大学公開講座シンポジウムの主題が「地域課題と放送公開講座」であったのにちなみ、とくにテレビ講座について地域課題を踏まえた内容のものを選定した。

3. 番組、印刷教材、学習指導の関連づけについて

番組と印刷教材との関連では、例年どおり原則として基本的な内容は同一とすることとした。

番組と学習指導との関連では、番組の進行とかかわりなく講師が全員出席することとし、受講生と講師の接触度を高めることを図った。ただし、第2回目のスクーリングは、テレビ講座、ラジオ講座とも放送局のスタジオを会場にして受講生に親しみを感じさせようとしたが、反面講師の出席は少数であった。

4. 番組の学習効果について（講師の印象、受講生の反応等から）

テレビ番組については、正規の受講生が少ないにもかかわらず、番組のみによる学習者は、視聴率等に基づく推定によれば、おおむね10,000人前後であり、両者の乖離が大きい。

主任講師に、個人的なりアクションがあり、番組のみによる学習者にも、好評であった由である。

5. 印刷教材の作成過程について

本年度の印刷教材の作成は、テレビ、ラジオ両講座とも、従前どおりの方針・方式で行われた。テレビ講座の場合、第一回講師会議の席上、講座全体の構成および各回の中心テーマの確認を行い、講師間の共通理解を図り、「印刷教材の作成方針」を確認の上執筆にとりかかった。各講師により執筆された原稿は、一度主任講師のもとで全体的な調整を経て印刷に付された。校正は両科目とも担当講師のほか主任講師および本センターが行った。

ラジオ講座については、講師が少数であったため、これまでどおりの方針を確認し、それに従い原稿執筆がなされた。原稿完成後はテレビ講座と同様の手順を経た。

6. 学習指導の実施状況について

科目	回	月 日(曜)	時間	場所	参加人員
ラジオ	第1回	10月2日(日)	13:30~16:00	金沢大学教養部教室	20人
	第2回	11月13日(日)	13:30~16:00	北陸放送Aスタジオ	11人
	第3回	1月16日(月)	13:00~15:00	金沢大学教養部教室	12人
テレビ	第1回	10月2日(日)	13:30~16:00	金沢大学教養部教室	9人
	第2回	10月30日(日)	13:30~16:00	北陸放送Aスタジオ	12人
	第3回	1月16日(月)	13:00~15:00	金沢大学教養部教室	8人

7. 「大学教育の地域社会への開放」に果たす役割について

〔1〕で記したように、本学は、従前からこの課題をとくに重視して公開講座を実施してきているので、地域住民の認識が深まってきている。たとえば、通常の公開講座の受講生が放送講座にも加わったり、初めて放送公開講座の受講生となった人がその後の通常の公開講座にも加わるなどの例がみられる。

反面、大学からみて遠隔地に住む学習者や、昨年度のラジオ講座の主任講師が指摘しているとおり営業でクルマを駆ける人びとのように、キャンパスに来る機会が得がたい向きに学習情報を提供する役割は大きいと考える。

8. 「大学の授業への活用」の状況と今後の可能性について

本学の放送公開講座は、〔7〕に記した理由により、主として地域住民に学習情報を提供することに重きをおいているので、一般的に言えば、「大学の授業への活用」は、他の大学の「番組」ほど多くはないと考えられる。

9. 実施上の問題点と今後の課題等について

今回とくに、さまざまな事由によってテーマの選定が遅延して、番組制作を担う放送局に迷惑をかけたと思われる。テーマを早く選定したうえ、季節に適合した映像を撮ったり、さまざまな既存の資料を広範に探索したりする必要があるので、前年度から準備を始められる措置が望まれる。

制 作 報 告

(1) 制作責任者報告

北陸放送報道制作局テレビ制作部長 牧 野 宏

1. 番組制作の基本方針と大学その他の関係機関との協力関係について

(ラジオ)

『乳幼児の発達』という現実味のあるテーマなので、いわゆる“HOW TO もの”との誤解を受けないように留意した。また、学説をそのまま、うのみにして現実にあてはめることのないよう、シリーズの節目、節目で注意を促しました。

(テレビ)

少しでも理解しやすい番組作りという点では、従来と変わりませんが、今年度は絶えず変動する経済がテーマだったことから、その都度、タイムリーな話を講座の中に盛り込んで頂くように講師にお願いしました。

例えば、税制改革では、消費税のしくみを外国の例とも比較しながら詳しく解説した他、ペレストロイカや農業交渉などについても、今問題になっていることを、時期をとらえて放送しました。

そのため、収録のスケジュールを度々変更することも多かったのですが、各講師とも快く協力して下さいましたことに感謝しています。

2. 番組の企画、構成及び制作上の工夫、特色等について

(ラジオ)

13回にわたって、主任講師一人が担当したので、シリーズ全体の流れがスムーズであったと思う。

単調にならないよう、講義の中盤に閑話休題的なテーマを女性アナウンサーとのかけあいで、とりあげるというコーナーを設けた。

10回目までを子供の発達を時系列順に説き、後半の3回をカウンセラーをゲストに、具体例をまじえて、子育て一般を説くという形で全体を構成した。

(テレビ)

番組の企画は、大学を中心に進め、構成及び制作の段階で放送局が深くかかわるというが、金沢大学公開講座の基本的な方向です。

構成の上では、世界、日本、北陸地域に分けて13回を構成。これは、地域経済が、単に国内だけでとどまらないという側面からのアプローチであり、国際的な経済用語なども、なるべく平易に紹介しました。

3. 番組の視聴状況と成果（評価、反応）について

（ラジオ）

TV 番組出演等で、主任講師の知名度が高かったこと、テーマが興味深いものであったこと、生番組スポット CM など積極的に告知を行ったことで、受講者数はある程度の数字を達成できた。

またスクーリングでの討論も活発であった。

（テレビ）

番組の時間帯を今年度は従来の土曜日の午前 5 時 45 分～ 6 時 30 分を月曜日の午前 10 時～ 10 時 45 分にスライドした結果、視聴率は、前年度を上回る成果を得ました。

反応も福祉問題を取りあげた際に『高齢者が、車を運転することは安全性の面から危険であり、免許取得の年齢制限をするべきだ』と講師が語ったことについて、視聴者から『老人を積極的に雇用しようとしている際、それは問題発言である。』との電話が局にかかるなど生の声がいくつか寄せられました。

4. 実施上の問題点と今後の課題等について

（ラジオ）

ラジオの場合、視聴者との双方向性を、例えば視聴者からの質問を番組中でとりあげるなど、を意識した形で作る方法が考えられる。但し、この場合は、あまり早い時期に録音という形はできなくなるが……

（テレビ）

実際に日々動いている経済を主婦にもわかるように、解説する方法として、お茶の間経済的な生放送も考えましたが、それが果たして大学講座として、適切かどうかという議論もあり、結局従来と同じ録画方式をとりました。

また、知識のレベルに限らず放送時間帯によっても視聴者を意識した番組制作が必要ではないかという課題も残りました。

(2) 番組制作担当者の所見

（テレビ科目） 新時代を迎えた世界と北陸の経済

制作担当者：北陸放送テレビ制作部主任 西川 嘉一

放送マスコミ界はもちろんのこと、企業への女性進出が著しい今日、大学もその例外ではありません。

金沢大学でも経済学部を受験する女性が年々増えています。講師との打ち合わせでもこの点が、話題になりました。

制作者以上に講師が、女性視聴者を大事にしているのです。それは、収録の日どんなネクタ

イをして、どんな服を着るかではなくて、女性を魅き付ける話の中身についてです。

そこで、いろいろと検討した結果、今年度は講師の持ち場である、大学のキャンパス内で講師が自己紹介をするというスタイルで番組を始めました。

さらに、45分間の中にできるだけ多くのエピソードを盛り込むように心がけました。

視聴者を魅きつける秘訣は、やはり先生の魅力です。

これは、講座を受講している視聴者と実際に対面するスクーリングでも感じました。

多少、話が脱線しても（むしろ時折脱線するほうが、楽しい）先生の表現力が豊かであれば、長時間でも退屈せずに講義を聞けるのです。

なるほど、テレビの画面を通すと微妙な息遣いやくせ、間といったものが、制作者が思っているほど伝わらないのも事実です。しかし、講座に関して言えば講師と良くつきあって、性格を知りその講師の持ち味を最大限に引き出すことこそまず第1に行われるべきです。

テレビの世界にいと、忙しさに紛れ忘れがちになる盲点とは実は、その辺にあるようです。

講座の原点とは、何か。

テレビ講座が10年を迎えた今、自分自身の反省を含め、講座の本来の姿をもう一度見直して見る時期にきているように思います。

（ラジオ科目） 乳幼児の発達

制作担当者：北陸放送ラジオ制作部課長 吉田直樹

今回、はじめて担当させていただきました。

企画段階からシリーズ終了まで常につきまっていた問題が二つありました。ひとつは、時間と対象です。

放送される日と、放送後に利用される場合の時間のズレをどう考えればいいのか。

例えば、導入の話題にタイムリーなことをとりあげても差し支えないかどうかという問題です。

また、対象はテキストを購入した受講生を中心にするか、放送の特性として不特定多数を意識するのか、そのスタンスのとり方に悩みました。

もうひとつは、上と関連しますが、送り手側のアカデミズムと受け手側の期待するプラグマティズム（実利性）のバランスについても考えさせられました。

今回のように、かなり具体的な内容を持つテーマの場合とくに大きい問題ではないかと思います。

なお、今回は京都出身の主任講師で、ときおり関西弁が混じり、人柄が出たように思います。

番組中程に登場する女性アナウンサー、実は講義の全時間、講師の向かい側で聞き手に徹していたのですが、ソフトな講師の語りかけるような口調は、実は前に座る彼女の存在が大きかったと思います。

視 聴 率

(テレビ科目) 新時代を迎えた世界と北陸の経済

○第3回「変わる中国経済と日中関係」

(北陸放送)

放 送 開 始	放 送 分 数	番 組 名	番 世 帯 組 視 平 均 率	番 占 組 視 聴 率	終 了 時 視 聴 率	個 人 4 才 全 体	男 (満 20 才 以 上) 計	女 (満 20 才 以 上) 計	男 ・ 女		
									男 ・ 女		満 20 才 以 上 34 才
									満 4 才 以 上 12 才	満 13 才 以 上 19 才	
6:00	30	河 合 塾 テ レ ビ 講 座	.5	4.4	.7	.2	.3	.1	*	*	*
6:30	30	JNNおはようニュース&スポーツ	9.5	30.0	11.2	4.6	5.5	4.0	2.8	5.8	6.8
7:00	90	ホ ッ ト ラ イ ン	22.2	38.0	12.9	11.7	10.2	13.6	10.6	11.4	12.0
8:30	60	内田忠男モーニングショー	15.1	38.9	12.6	5.1	5.2	8.0	.7	.9	3.0
9:30	25	誘 わ れ て 二 人 旅	7.7	29.1	7.5	2.5	2.4	3.9	*	.7	*
9:55	5	天 気 予 報	6.5	30.8	6.5	2.1	1.9	3.5	*	.7	*
10:00	45	金 沢 大 学 テ レ ビ 公 開 講 座	1.3	8.3	1.0	.5	.5	.6	*	*	*
10:45	15	ご 存 知 で す か 奥 さ ま	1.0	7.4	1.0	.4	.5	.5	*	*	*
11:00	30	宮崎美子の人間ウォッチング	.7	11.2	.7	.2	.3	.2	*	*	*
11:30	10	3 分 ク ッ キ ン グ	4.1	46.6	4.1	1.3	.5	2.8	*	*	*
11:40	5	MRO ニ ュ ー ス	3.7	45.1	3.7	1.2	1.1	2.1	*	*	*
11:45	15	JNN ニ ュ ー ス	4.4	38.2	4.4	1.5	1.4	2.6	*	*	*
12:00	45	新 伍 の お 待 ち ど お さ ま	22.4	44.9	22.4	8.3	5.4	15.9	.5	1.6	*
12:45	15	家 庭 の 問 題	17.3	40.4	17.3	6.7	4.0	12.6	.7	2.0	*
13:00	30	愛 の 劇 場 ・ 女 に 生 ま れ て	21.8	61.9	21.8	7.1	3.5	14.5	*	1.5	*

10月17日（月曜日）（％）

年 齢 区 分 別 視 聴 率							職 業 区 分 別 視 聴 率									
男 性			女 性				男 性					女 性		男 ・ 女		
満 35 才 ～ 49 才	満 35 才 以 上	満 50 才 以 上	満 20 才 ～ 34 才	満 35 才 ～ 49 才	満 35 才 以 上	満 50 才 以 上	給 料 事 務	給 料 労 務	自 管 由 理 業 ・ 職	商 工 ・ 自 営	無 職 ・ そ の 他	有 職 者	主 家 庭 婦 ・ 人	未 就 学 児	小 ・ 中 学 生	高 ・ 大 学 生
.7	.4	*	*	*	.2	.3	*	*	1.6	*	*	*	.2	*	*	*
4.7	5.1	5.5	5.6	5.3	3.5	1.6	7.4	6.6	5.5	4.3	3.0	5.3	3.4	2.3	5.1	2.4
8.3	9.6	10.9	13.6	16.0	13.6	11.2	9.2	12.8	7.6	10.5	11.1	12.6	14.4	7.6	10.4	11.1
5.5	5.9	6.4	5.8	7.0	8.9	10.7	2.4	6.0	4.7	4.8	9.3	2.5	10.8	1.2	.3	1.2
3.4	3.2	2.9	1.7	1.9	4.7	7.6	1.2	4.0	1.6	*	3.9	2.1	4.8	*	*	1.2
2.1	2.5	2.9	1.7	1.9	4.2	6.5	*	3.2	1.6	*	3.9	2.1	4.2	*	*	1.2
.7	.7	.7	*	1.1	.9	.6	*	.8	1.6	*	*	.5	.7	*	*	*
.7	.7	.7	*	.6	.6	.36	*	.8	1.6	*	*	*	.7	*	*	*
*	.4	.7	*	*	.3	.6	*	*	1.6	*	*	*	.3	*	*	*
.7	.7	.7	1.7	1.3	3.2	5.2	*	.8	1.6	*	*	1.4	3.5	*	*	*
.7	1.4	2.2	1.7	.6	2.3	3.9	*	.8	1.6	*	3.9	.7	2.8	*	*	*
.7	1.9	3.1	2.5	.6	2.6	4.5	*	.8	3.1	.7	3.9	.7	3.5	*	*	*
2.7	7.1	11.9	9.2	8.2	18.4	28.6	.4	2.4	5.8	6.2	20.3	6.5	20.5	*	.4	2.4
2.1	5.3	8.8	6.7	7.1	14.8	22.6	*	.8	3.1	6.4	17.6	5.6	16.3	*	.6	2.4
.7	4.6	8.8	7.6	9.7	17.1	24.5	*	1.6	1.6	2.1	17.6	4.9	19.2	*	*	2.4

○第10回「北陸農業・農村の展望をひらく」

放 送 開 始	放 送 分 数	番 組 名	番世 帯 組 視 平 均率	番占 組 視 聴率	終 了 時 視 聴 率	個 人 満 4 才 全 以 上 体	男 満 20 才 以 上 計	女 満 20 才 以 上 計	男 ・ 女			
									男 ・ 女			
									満 4 才 以 上 計	満 13 才 以 上 計	満 20 才 以 上 計	
6:25	5	健 民 さ わ や か 体 操	1.4	16.7	1.4	.6	.5	.7	.6	.6	*	
6:30	30	JNNおはようニュース&スポーツ	10.6	42.3	13.9	4.3	4.1	5.1	3.3	4.0	3.7	
7:00	90	ホ ッ ト ラ イ ン	26.9	43.4	15.2	12.8	12.1	16.5	7.9	10.4	10.0	
8:30	60	内田忠男モーニングショー	13.4	36.3	10.8	4.6	4.5	7.5	1.7	.9	2.9	
9:30	25	誘 わ れ て 二 人 旅	8.8	32.0	8.4	3.2	3.3	6.0	*	*	1.2	
9:55	5	天 気 予 報	6.8	31.9	6.8	2.6	3.0	4.4	*	*	1.2	
10:00	30	報道特番・天皇の御容体	1.4	7.5	1.4	.4	.5	.5	*	*	*	
10:30	45	金沢大学テレビ公開講座	.6	4.4	.3	.2	.3	.1	*	*	*	
11:15	15	ご存知ですか奥さま	.7	9.0	.7	.2	.3	.2	*	*	*	
11:30	10	3 分 ク ッ キ ン グ	2.7	25.4	2.7	1.0	1.1	1.7	*	*	*	
11:40	5	MRO ニ ュ ー ス	3.7	32.2	3.7	1.7	1.1	2.7	1.7	.6	*	
11:45	15	JNN ニ ュ ー ス	6.1	43.3	6.1	2.4	1.7	3.9	1.7	1.2	*	
12:00	45	新伍のお待ちどうさま	17.6	38.9	18.2	6.7	6.9	12.2	*	.6	1.6	
12:45	15	家 庭 の 問 題	13.4	33.0	13.5	5.0	4.9	9.3	*	*	2.4	
13:00	30	愛の劇場・かけおち通り	18.2	53.4	17.9	6.7	4.1	14.6	*	.6	1.2	

12月5日(月曜日) (%)

年 齢 区 分 別 視 聴 率							職 業 区 分 別 視 聴 率									
男 性			女 性				男 性					女 性		男 ・ 女		
満 35 才 ～ 49 才	満 35 才 以 上	満 50 才 以 上	満 20 才 ～ 34 才	満 35 才 ～ 49 才	満 35 才 以 上	満 50 才 以 上	給 料 事 務	給 料 労 務	自 管 由 理 業 ・ 職	商 工 ・ 自 営	無 職 ・ そ の 他	有 職 者	主 家 庭 婦 婦 ・ 人	未 就 学 児	小 ・ 中 学 生	高 ・ 大 学 生
.6	.7	.8	*	1.9	1.0	*	*	.8	*	*	2.2	1.3	.4	*	.5	1.0
4.3	4.2	4.1	6.9	7.3	4.4	1.0	6.2	6.4	3.0	1.5	*	5.8	4.5	*	4.3	4.5
10.7	12.7	15.3	15.9	19.4	16.8	13.6	10.5	16.5	16.6	8.6	3.7	16.1	16.2	2.9	10.7	9.9
3.5	5.0	6.9	4.7	7.9	8.5	9.3	3.5	2.6	6.3	9.1	2.2	3.7	9.9	2.0	1.5	.5
.6	3.9	8.2	3.6	3.8	6.8	10.4	4.1	3.3	1.8	3.0	4.4	4.7	6.8	*	*	*
1.2	.6	3.5	7.4	2.7	1.9	5.1	9.0	4.1	3.3	*	3.0	4.4	3.9	4.8	*	*
*	.7	1.6	.9	.6	.3	*	1.4	*	*	1.5	*	.6	.4	*9	*	*
*	.4	.8	.6	*	*	*	*	*	*	1.5	*	*	.3	*	*	*
*	.4	.8	*	.6	.3	*	*	*	*	1.5	*	*	.4	*	*	*
*	1.4	3.3	*	1.2	2.4	3.7	*	1.7	*	1.5	2.2	*	2.8	*	*	*
.6	1.4	2.5	.9	1.9	3.4	5.2	*	.8	*	3.0	2.2	1.3	3.6	2.0	1.5	*
1.3	2.2	3.6	.9	4.1	5.1	6.2	1.4	.8	1.8	3.0	2.9	1.9	5.2	2.0	1.5	1.0
4.7	8.4	13.1	5.8	8.4	14.6	22.1	1.4	4.6	3.6	10.6	20.7	6.5	15.3	*	*	1.9
3.1	5.7	9.0	6.3	6.6	10.4	14.9	1.4	5.0	1.8	6.1	13.3	3.2	12.6	*	*	1.0
1.3	5.0	9.8	10.5	8.0	16.1	25.9	1.4	4.1	*	6.1	11.1	8.3	18.0	*	*9	1.9

聴 取 率

(ラジオ科目) 乳幼児の発達

○第4回「愛着対象の成立」

(北陸放送)

放 送 開 始	放 送 分 数	番 組 名	聴 取 率	男	女	男				
						12 歳 17 歳	18 歳 24 歳	25 歳 34 歳	35 歳 59 歳	60 歳 以 上
18:25	05	ス ポ ー ツ レ ー ダ ー	3.2	5.6	.9	*	3.7	5.3	9.7	*
18:30	30	井 上 い つ の り の 男 と 女 の I LOVE 湯	2.1	2.8	1.8	*	*	5.3	4.3	*
19:00	60	全 国 歌 謡 ベ ス ト テ ン	4.6	6.0	3.6	12.5	11.1	7.9	4.3	*
20:00	30	相川恵理のわがままシンデレラ	1.1	1.4	.9	3.1	*	2.6	1.1	*
20:30	30	GENGIGENKI 爆 発	1.1	1.4	.9	6.3	*	2.6	*	*
21:00	45	金 沢 大 学 公 開 講 座	.2	.5	*	*	*	*	1.1	*
21:45	05	ラ イ フ イ ン ス ポ ー ツ	.5	.9	*	3.1	*	*	1.1	*
21:50	10	ニ ュ ー ス ・ 天 気 予 報	.5	.9	*	3.1	*	*	1.1	*
22:00	30	五 木 寛 之 の 夜	.5	.5	.5	*	*	*	1.1	*
22:30	30	ポ プ シ カ ル ナ イ ト	1.1	.9	1.4	*	*	*	1.1	3.8
23:00	30	独 断 ベ ス ト ヒ ッ ト	2.5	3.2	1.8	18.8	*	*	*	3.8
23.30	30	SOUNDS WITH COKE	1.8	2.3	1.4	9.4	3.7	*	*	3.8
00:00	30	全 国 ポ ピ ュ ラ ー ・ ベ ス ト テ ン	2.5	3.2	1.8	12.5	7.4	*	1.1	*
00:30	30	パ ー プ ル エ ク ス プ レ ス	.5	.5	.5	*	*	*	1.1	*
01:00	120	オ ー ル ナ イ ト ニ ッ ポ ン	1.8	2.8	1.4	6.3	7.4	2.6	1.1	*

11月5日(土) (%)

女					男					女			カ ー ラ ジ オ で の 聴 取
12 歳	18 歳	25 歳	35 歳	60 歳 以 上	事 務 理 職	労 務 職	商 工 自 営 者	自 由 業 ・ 無 職 者	学 生 ・ 生 徒	学 生 ・ 生 徒	有 職 者	主 家 庭 婦 人	
*	*	*	2.1	*	4.9	8.0		6.8	2.4	*	1.3	1.0	1.8
3.3	*	2.6	2.1	*	1.2	6.0		4.5	*	2.6	2.5	1.0	.9
10.0	*	5.3	1.0	4.9	7.4	8.0		*	9.8	7.9	5.1	1.9	1.6
*	*	*	2.1	*	1.2	4.0		*	2.4	*	1.3	1.0	.5
*	3.4	*	1.0	*	*	2.0		*	4.9	2.6	*	1.0	.2
*	*	*	*	*	1.2	*		*	*	*	*	*	.2
*	*	*	*	*	1.2	*		*	2.4	*	*	*	.2
*	*	*	*	*	1.2	*		*	2.4	*	*	*	.2
*	*	*	1.0	*	*	*		2.3	*	*	1.3	*	.2
3.3	3.4	2.6	*	*	1.2	*		2.3	*	2.6	2.5	*	.5
3.3	3.4	5.3	*	*	1.2	*		*	14.6	2.6	2.5	1.0	*
3.3	3.4	2.6	*	*	1.2	*		*	9.8	2.6	2.5	*	*
10.0	3.4	*	*	*	*	2.0		*	14.6	10.5	*	*	*
3.3	*	*	*	*	*	2.0		*	*	2.6	*	*	*
6.7	3.4	*	*	*	*	2.0		*	12.2	7.9	1.3	*	*